

常楽会報

令和元年
9月号
No.9

宗教法人 自生会

我々の寿命というものは、いつどうなるかわかりません。頭の良い人でも、悪い人でも、若くても、中には赤ちゃんであっても、年老いていても、いつ寿命がくるかわからないのです。ですから、まずは臨終のことを習ってから他のことを勉強しなさい、ということなのです。亡くなるときに、「自分は一生懸命に生きた」と思えるように、周りの人たちが「この人はこんな人だった」と心に残るような、そんなふうに見えることが大事です。

盂蘭盆法要会

8/16 (金) 晋山荘石岡道場 「送り火」
8/13 (火) 「迎え火」



8/15 (木)

ショートステイ
「あいりレーつくば」



参加者 75 名

出張法要

8/14 (水)

グループホーム
あいりレー石岡



参加者 24 名

8/14 (水)

ショートステイ
「あいりレー石岡鹿の子」



参加者 60 名

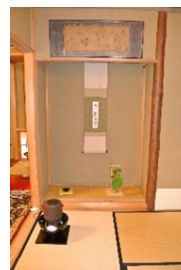
8月はお盆月のため、介護施設へ出張し、利用者の方々の先祖供養をしました。自分が存在しているということは、必ず両親や先祖がいるということです。10代さかのぼると1024人の先祖がいます。ご先祖様に感謝の思いを持ち自分を大切に、いつか自分もご先祖様になることをはっきりと認識して、みんなのために頑張りましょう。

茶道稽古

晋山荘石岡道場
8/8 (木)



8/21 (水)



問法の会

我々衆生は遠い昔からお釈迦様の愛子、すなわち愛する子なのです。私たちの中には生まれながらに仏の種、仏種が備わっているのです。ですから、他力本願でなく自分を信じるのが大切なことです。何事も自分の心持次第なのです。自分の我を通すのでなく、周りの人たちが幸せになるために自分が何をすべきか考え、行動することが大事です。

9月のご案内

- 12日 茶道稽古
- 19日 七免天女縁日・禪定の集い
- 20日 石岡お参りの会 (秋季彼岸法要会)
- 21日 つくばお参りの会 (秋季彼岸法要会)
- 25日 茶道稽古
- 23日 泰晋会お参りの会 (秋季彼岸法要会)